

つながり

本誌は、医療や介護に従事する皆様が多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして発行しております。

在宅医療・介護の現場紹介 「地域密着型特別養護老人ホームうぐいす城東」



—体操教室の様子—

連携センターでは、在宅医療・介護の現場紹介をしていきます。今回はその第1弾として、地域密着型特別養護老人ホームうぐいす城東で、特に力を入れている看取りの取り組みについてお話を伺いました。



佐々木 真理 氏

地域密着型特別養護老人ホーム
うぐいす城東
施設長／看護師
趣 味：編み物（どっぷりはまっています）、ドライブ
座右の銘：継続は力なり

—施設の特徴について教えてください。

地域密着型特別養護老人ホームは、特別養護老人ホームのうち入居定員30人未満で、原則要介護3以上の認定を受け、介護を必要とする方を入居対象としています。当施設は地域密着型特別養護老人ホームとして、秋田市の中で最初に開設しました。定員29人で3ユニットです。入居者さんは、基本的に居室や食堂ホールなどで穏やかにゆっくり過ごしています。レクリエーションや行事などはどの施設でも設けられていると思いますが、当施設でも竿燈や梵天祭りなど季節ごとの行事や、外部の講師を招いた体操教室や職員が企画したレクリエーションを行っています。

—施設で特に大切にしていることはありますか。

当施設では看取りを大切にしています。入居者さんやご家族と密な交流、温かい交流ができればという想いで、当施設開設前に、看取りに力を入れている施設を見学し、真似できたところは工夫して取り入れてきました。開設して11年経ちましたが、ここ最近では約8割の入居者さんを看取らせていただいています。理念である「自然・受容・絆」には、入居者さんが笑顔とコミュニケーション（絆）に包まれながら、最期（自然）までその人らしい（受容）人生が送れるように支援するという意味があります。この理念は看取りを意識して作られたもので、職員には暗記するくらい覚えてもらっています。

—施設での看取りについて詳しく教えてもらえますか。

食べられなくなってきた、活気がなくなってきたと感じたタイミングで、先生に相談するところから看取りの準備が始まります。先生と看取りに向けた準備が必要と合意に至れば、往診日に合わせて家族に来てもらい、いつ何があってもおかしくないというような説明をしてもらっています。その後、いよいよ看取り期だと看護師が判断したタイミングで、基本的には施設長である私からご家族に看取りケア計画書と看取りパンフレットを用いて心構えができるよう改めて説明して

います。よくある話ですが、看取り期になって水分も取れなくなったり、息が苦しそうだったりと心配されて、点滴を希望されるご家族がいます。希望に応じる場合もありますが、ご家族には事前に「一時的には元気になるかもしれないけれど、体内の水分が増えることで心臓に負担がかかったり、痰が増えて吸引をしなければならなくなったりします。吸引はやっぱり苦しいです」「浮腫みも出てきてそれが床ずれにもなりやすいです」「血管が細く脆弱になっているので、何回か刺さないと入らないかもしれないし、1回で入ったとしても痛みを伴ってかなり負担は強いです」と点滴をすることによるご本人の負担について看護師から説明しています。また、点滴をしないことが何もしないわけではないこともご家族に理解してもらえよう同時に話しています。そうすると大体のご家族は、納得してくださいますね。

—他にはどんなことをされていますか。

施設内研修やご家族とお別れ会、職員間での偲びのカンファレンスなどを行っています。やはり看取りに不安を感じる職員もいますので、ちょうど亡くなった時に当たった職員には「きっとあなたを選んでくれたんだよ」と声掛けをする



—夏祭りの様子—

よう努めています。今まで一緒に生活をしてきた入居者さんが亡くなることは毎回ショックですので、職員に対してのグリーンケアも看取りの流れのなかではすごく大事なことだと思っています。また、当施設では特にエンゼルメイクを重んじていて、なぜ大切にしているかということ施設内研修で学びます。そして、エンゼルケアはご家族と一緒にできる限りその日いる職員全員が行います。あなたは化粧水、あなたはファンデーションと役割を分け、男性の職員には髪をとかしてもらおうなどしています。大切なことは「その人の最期を丁寧に送りたい」という気持ちだと思っています。それから、ご家族が一段落された頃、荷物を取りに来られた時に「お別れ会」を開いています。各職種の職員それぞれから手紙を読み、ご家族からも一言いただいています。最後に代表の入居者さんからご家族にフラワーアレンジメントを渡していただくのですが、これがすごく良い会で感動します。参加したご家族、入居者さん、職員含め全ての方々のグリーンケアに繋がっていると思っていますので、他の施設でも是非取り入れてもらいたいですね。そして、全てが終わってから故人を偲びながら職員のみで「偲びのカンファレンス」というものを行っています。「入居者の気持ちや訴えに寄り添っていたか」「ご家族は安心して入居者を看取ることができたと思うか」「職員間・職種間の連携は十分図れていたか」など用紙の各項目に沿って評価しながら、職員で意見交換をし、みんなで振り返っています。亡くなられた方からの学びを次に繋げられればという想いです。比較的冷静で思い出話も交えながらの会になっています。



—施設内研修の様子—

—印象に残った看取りのエピソードはありますか。

ご夫婦で入居されていたお二人が、ほぼ同時期に看取りの時を迎えられたケースです。県外から駆けつけたご家族を含

め、「家族全員で最期の時間を過ごしてもらいたい」という職員間の想いで、施設内の一角を部屋風にしました。空間をパーテーションで区切り、ロールカーテンに装飾を施したりソファベッドを設置したりすることで、ご家族がゆっくり寛げるよう環境を整備しました。お二人の意思疎通は困難な状態でしたが、亡くなるまでの間穏やかな時間を過ごしていただくことができました。後悔がないようご家族と協力しながらやってこれたので、私の中でとても印象的で忘れられない看取りになりました。小規模だからできることなのかもしれないですね。

—看取りへの想いを教えてください。

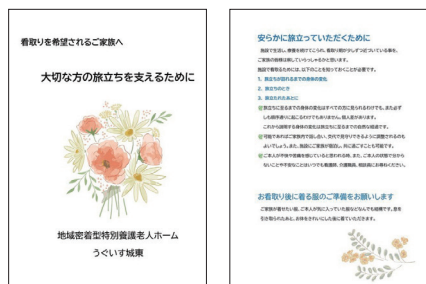
施設での看取りのいいところは、職員の声だったり、他の入居者さんの気配だったり、生活の音が聞こえてくる中で最期を迎えられるところだと思います。ご本人ができるだけ苦痛なく穏やかに安心してもらえるよう心から想い対応しています。看取りケアに正解があるわけではないので難しい部分もありますが、その分とても奥が深く、ご家族も職員もできるだけ後悔がないようケアができればという想いです。特別なことは何もありません。当たり前を当たり前にやるだけです。

—今後の課題として感じることはありますか。

介護職員は具体的に今の状態、特に身体の変化をご家族へ伝えることとなると苦手意識があり、どうしても看護師中心の看取りになりがちです。身体変化の説明は看護師がするとしても、「今日は手を握ってくれました」「お話してくれました」などのように、その日どんな様子だったかを伝えることや、看取り期にどんなことをやってもらいたいかなど、ご家族からお話を聞きコミュニケーションを取ることは介護職員ももちろんできることだと思います。看取りケアに更にもう一步踏み込んでもらえればなおいいと感じます。

—ありがとうございました。

看取りパンフレットの一部



入居者さんが好物だった食べ物をご家族から差し入れてもらったりしています。飲み込みが困難になってからでも、アイスクリームやラーメンのスープ、なかには焼肉のたれなどを味わわれていた方もいました。

看取りケア計画書には

- ・経過（看取り前のおおよそ1週間前と思われる時からお別れ、帰宅まで）
 - ・達成目標
 - ・症状やケアについて
 - ・その他（衣装等準備していただくものなどの情報）
- を載せています。

看取りパンフレットには

- ・旅立ちが訪れるまでの身体の変化
 - ・旅立ちのとき
 - ・旅立たれたあとに
- など、安らかに旅立っていただくために、ご家族に知っておいてもらいたいことを載せています。



看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。

看取りケア計画書

看取りケア計画書（安らかに最期を迎えられるために）		ご家族の方へ	
項目	確認事項	確認事項	確認事項
1. 看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。
2. 看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。
3. 看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。	看取りの時期が確定したら、ご家族の面会はいつでも、何時でも、何時間でも、泊まりも可です。



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金（祝日を除く）午前9時～午後5時
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号（秋田市医師会館内）
TEL:018-827-3636 FAX:018-827-3614
E-mail renkei-center@acma.or.jp



編集後記

うぐいす城東の職員の皆さんが、日頃から温かく心のこもったケアをされていることがひしひしと伝わってきた取材でした。

高橋

